

入力例：酪農

県名	●●県
畜産クラスター協議会名	●●県酪農振興畜産クラスター協議会

○優先順位の考え方（どのような視点から協議会内の優先順位を決定したのか記入してください。）

STEP 1 はじめに、基本情報を入力・選択して下さい ※黄色の項目は、選択肢から選択して下さい										STEP 2 次に、当該機械装置を導入する必要性を選択し、成果目標に関する情報を選択・入力して下さい ※成果目標の前提となる導入の必要性は『導入の必要性[1]の欄』で選択して下さい ※水色の項目は、他の選択した項目に連動して自動的に選択できる項目・表示される情報が変わります ※黄色の項目は、選択肢から選択して下さい																				
優先順位※2	畜産経営基盤継承支援事業との一体性※5	所属(団体等名)	中心的经营体確認※7	取組主体等名※8	貸付主体から借受を行う場合の取組主体		クラスター計画のテーマ番号(成果目標)※16	飼養区分※10	機械装置導入の妥当性等の確認※12					成果目標の算定根拠 ※18										成果目標値						
					氏名	取組主体要件※9			導入の必要性※15			成果目標の種類(1~6)※17	算定根拠※19	現状値					目標値						増加(削減)率(%)※20					
									[1]	[2]	[3]			①	単位	②	単位	③	単位	現状値(①×②×③)	単位	①	単位			②	単位	③	単位	目標値(①×②×③)
入力時の注意	選択肢から選択	選択肢から選択	選択肢から選択	直賃の場合は取組主体名、転賃の場合は貸付主体名を入力	転賃の場合のみ入力	選択肢から選択	全角ローマ数字(小文字)で入力	選択肢から選択	選択肢から選択	選択肢から選択	選択肢から選択	選択肢から選択	半角で入力	自動で表示されます	半角で入力	自動で表示されます	半角で入力	自動で表示されます	自動で入力されず	自動で表示されます	半角で入力	自動で表示されます	半角で入力	自動で表示されます	半角で入力	自動で表示されます	自動で入力されず	自動で表示されます	自動で入力されず	自動で表示されます
1	●●県酪農業協同組合	○	6田 酪七郎			新規	iv 飼養規模の拡大・飼養管理の改善	酪農	新規就農			1 販売額の5%増	出荷数量(乳量)	0	kg/年(1頭あたり年間産乳量)				円/kg(単価)	0 円	8,000	kg/年(1頭あたり年間産乳量)	20	頭(搾乳牛頭数)	100	円/kg(単価)	16,000,000 円	皆増		
2	●●県酪農業協同組合	○	●●県酪農協	H谷 酪八郎		新規	iv 飼養規模の拡大・飼養管理の改善	酪農	新規就農			1 販売額の5%増	出荷数量(乳量)	0	kg/年(1頭あたり年間産乳量)				円/kg(単価)	0 円	8,000	kg/年(1頭あたり年間産乳量)	20	頭(搾乳牛頭数)	100	円/kg(単価)	16,000,000 円	皆増		
3	●●県酪農業協同組合	○	I藤 酪九郎			認定	v 自給飼料の拡大	酪農	自給飼料の生産・利用拡大	自給飼料の生産・利用の省力化		2 生産コストの5%減	飼料費	450	円/kg(単価)	40	円/kg(単価)			18,000,000 円	250	円/kg(単価)	40	円/kg(単価)			10,000,000 円	-44.4%		
4	●●県酪農業協同組合	○	I藤 酪九郎			認定	v 自給飼料の拡大	酪農	自給飼料の生産・利用拡大	自給飼料の生産・利用の省力化		2 生産コストの5%減	飼料費	450	円/kg(単価)	40	円/kg(単価)			18,000,000 円	250	円/kg(単価)	40	円/kg(単価)			10,000,000 円	-44.4%		

STEP 3

次に、**要望する機械装置に関する情報**を選択・入力して下さい

- ※複数の機械装置を一体的に要望する場合は、「一体的な要望の有無」欄で必ず指定して下さい
- ※水色の項目は、他の選択した項目に連動して自動的に選択できる項目・表示される情報が変わります
- ※黄色の項目は、選択肢から選択して下さい

STEP 4

最後に、その他の情報を選択・入力して下さい

※黄色の項目は、選択肢から選択して下さい

補助対象機械装置			機械装置導入の妥当性等の確認※12			機械装置価格、補助金等					一体的な要望の有無	参考 優先順位	成果目標の達成状況 ※21								施設整備との一体性※6		従業員数 ※22	経営規模の区分 ※23	株式会社又は持分会社の要望のみ		取組主体の所在地(市町村名) ※入力ルール ●●●市 ●●●町 ●●●村	辞退履歴	備考 ※24
機械装置の区分	機械装置名	数量	規模・数量の妥当性 ※13	既存の機械装置の有無確認 ※14	動力源の有無	機械価格 A	消費税 B	計 (A+B)	補助率	補助金額 (A×1/2以内)			(H28)年度導入	(H29)年度導入	(H30)年度導入	(R1)年度導入	(R2)年度導入	(R3)年度導入	(R4)年度導入	活用事業	整備時期・内容	大規模法人への該当の有無【確認】			直近3カ年の農業に係る売り上げが1/2以上占めるか【確認】				
選択肢から選択	選択肢から選択	半角で入力	選択肢から選択	選択肢から選択	選択肢から選択、 手引きを参照のこと	半角で入力	半角で入力	自動で入力されます		自動で入力されます	選択肢から選択、 手引きを参照のこと	半角で入力	半角で入力	選択肢から選択				選択肢から選択	手引きを参照して具体的に入力すること	半角で入力	選択肢から選択	選択肢から選択	選択肢から選択	入力ルールに沿って入力すること	手引きを参照して入力すること	中古品の要望以外の記載は不可			
飼料収穫・調製用機械装置	ディスクモア	1	○	3.既存の機械装置があるが、要望する機械装置は能力が向上したものである(既存の機械装置は併用する)	2.「動力源」は自己資金で導入した機械装置を使用する	3,500,000	350,000	3,850,000	1/2	1,750,000	なし	1	8	6	-	-	-	-	○	-	-		2: 中小規模経営			●●●●町			
飼料収穫・調製用機械装置	ディスクモア	1	○	2.既存の機械装置があるが、要望する機械装置は能力が向上したものである(既存の機械装置は破棄する)	2.「動力源」は自己資金で導入した機械装置を使用する	3,500,000	350,000	3,850,000	1/2	1,750,000	なし	2	9	7	-	-	-	-	-	-	-		2: 中小規模経営			●●市	①一般枠、②ディスクモア、③成果目標見直しのため		
飼料収穫・調製用機械装置	ディスクモア	1	○	2.既存の機械装置があるが、要望する機械装置は能力が向上したものである(既存の機械装置は破棄する)	2.「動力源」は自己資金で導入した機械装置を使用する	3,500,000	350,000	3,850,000	1/2	1,750,000	4位と一体	3	52	45	○	×	-	○	-	○	-		2: 中小規模経営			●●市			
飼料収穫・調製用機械装置	カッティングロールペーラー	1	○	1.既存の機械装置がないことを協議会で確認した	2.「動力源」は自己資金で導入した機械装置を使用する	4,500,000	450,000	4,950,000	1/2	2,225,000	3位と一体	4	52	45	○	×	-	○	○	-	-		2: 中小規模経営			●●市	①一般枠、②カッティングロールペーラー、③成果目標見直しのため		

入力例:肉用牛(繁殖)

県名	●●県
畜産クラスター協議会名	●●地域肉用牛畜産クラスター協議会

○優先順位の考え方（どのような視点から協議会内の優先順位を決定したのか記入してください。）

STEP 1 はじめに、基本情報を入力・選択して下さい ※黄色の項目は、選択肢から選択して下さい										STEP 2 次に、当該機械装置を導入する必要性を選択し、成果目標に関する情報を選択・入力して下さい ※成果目標の前提となる導入の必要性は『導入の必要性[1]』の欄で選択して下さい ※水色の項目は、他の選択した項目に連動して自動的に選択できる項目・表示される情報が変わります ※黄色の項目は、選択肢から選択して下さい																					
優先順位※2	畜産経営基盤継承支援事業との一体性※5	所属(団体等名)	中心的経営体確認※7	取組主体等名※8	貸付主体から借受を行う場合の取組主体	氏名	取組主体要件※9	クラスター計画のテーマ番号(成果目標)※16	飼養区分※10	機械装置導入の妥当性等の確認※12				成果目標		成果目標の算定根拠 ※18										成果目標値					
										導入の必要性※15			成果目標の種類(1~6)※17	算定根拠※19	現状値					目標値					増加(削減)率(%)※20						
										[1]	[2]	[3]			①	単位	②	単位	③	単位	現状値(①×②×③)	単位	①	単位		②	単位	③	単位	目標値(①×②×③)	単位
入力時の注意	選択肢から選択	選択肢から選択or入力	選択肢から選択	直賃の場合は取組主体名、転賃の場合は貸付主体名を入力	転賃の場合のみ入力	選択肢から選択	選択肢から選択	全角ローマ数字(小文字)で入力	選択肢から選択	選択肢から選択	選択肢から選択	選択肢から選択	選択肢から選択	半角で入力	自動で表示されます	半角で入力	自動で表示されます	半角で入力	自動で表示されます	半角で入力	自動で表示されます	半角で入力	自動で表示されます	半角で入力	自動で表示されます	半角で入力	自動で表示されます	半角で入力	自動で表示されます	半角で入力	自動で表示されます
1	●●農業協同組合	○	A野 肉太郎			認定	iv 飼養規模の拡大・飼養管理の改善	肉用牛(繁殖)	飼養頭羽数の増加による出荷数量の増加	給餌作業の省力化			1 販売額の5%増	出荷数量(繁殖牛)	15	頭/年(年間販売頭数)	700,000	円/頭(販売単価)			10,500,000	円	23	頭/年(年間販売頭数)	700,000	円/頭(販売単価)			16,100,000	円	53.3%
2	●●農業協同組合	○	B元 肉次郎			認定	iii 労働負担の軽減	肉用牛(繁殖)	給餌作業の省力化				2 生産コストの5%減	労働費	3,600,000	円/人/年(労働費)	2	人(従事者数)			7,200,000	円	3,600,000	円/人/年(労働費)	1	人(従事者数)			3,600,000	円	-50.0%
3	●●農業協同組合	○	株式会社 C田農産			団体等	iv 飼養規模の拡大・飼養管理の改善	肉用牛(繁殖)	分娩間隔の短縮による出荷数量の増	事故率の低減による出荷数量の増	繁殖管理の省力化		1 販売額の5%増	出荷数量(繁殖牛)	15	頭/年(年間販売頭数)	700,000	円/頭(販売単価)			10,500,000	円	17	頭/年(年間販売頭数)	700,000	円/頭(販売単価)			11,900,000	円	13.3%
4	●●農業協同組合	○	株式会社 D本農場			団体等	iii 労働負担の軽減	肉用牛(繁殖)	繁殖管理の省力化				2 生産コストの5%減	労働費	3,600,000	円/人/年(労働費)	2	人(従事者数)			7,200,000	円	3,600,000	円/人/年(労働費)	1	人(従事者数)			3,600,000	円	-50.0%
5	●●農業協同組合	○	●●農業協同組合 E本 肉五郎			認定	iv 飼養規模の拡大・飼養管理の改善	肉用牛(繁殖)	飼養頭羽数の増加による出荷数量の増加	自給飼料の生産・利用拡大			1 販売額の5%増	出荷数量(繁殖牛)	15	頭/年(年間販売頭数)	700,000	円/頭(販売単価)			10,500,000	円	23	頭/年(年間販売頭数)	700,000	円/頭(販売単価)			16,100,000	円	53.3%
6	●●農業協同組合	○	F村 肉六郎			認定	v: 自給飼料の拡大	肉用牛(繁殖)	自給飼料の生産・利用拡大				2 生産コストの5%減	飼料費	100	円/年(購入粗飼料量)	40	円/kg(単価)			4,000,000	円	50	円/年(購入粗飼料量)	40	円/kg(単価)			2,000,000	円	-50.0%
7	●●農業協同組合	○	G田 肉七郎			認定	iv 飼養規模の拡大・飼養管理の改善	肉用牛(繁殖)	飼養頭羽数の増加による出荷数量の増加	ふん尿処理の省力化	放牧頭数・面積の拡大		1 販売額の5%増	出荷数量(繁殖牛)	15	頭/年(年間販売頭数)	700,000	円/頭(販売単価)			10,500,000	円	30	頭/年(年間販売頭数)	700,000	円/頭(販売単価)			21,000,000	円	100.0%
8	●●農業協同組合	○	●●農業協同組合 H谷 肉八郎			認定	v: 自給飼料の拡大	肉用牛(繁殖)	自給飼料の生産・利用拡大	放牧頭数・面積の拡大			2 生産コストの5%減	飼料費	100	円/年(購入粗飼料量)	40	円/kg(単価)			4,000,000	円	20	円/kg(単価)	40	円/kg(単価)			800,000	円	-80.0%
9	●●農業協同組合	○	●●農業協同組合 H谷 肉八郎			認定	v: 自給飼料の拡大	肉用牛(繁殖)	自給飼料の生産・利用拡大	放牧頭数・面積の拡大			2 生産コストの5%減	飼料費	100	円/年(購入粗飼料量)	40	円/kg(単価)			4,000,000	円	20	円/kg(単価)	40	円/kg(単価)			800,000	円	-80.0%

STEP 3

次に、**要望する機械装置に関する情報**を選択・入力して下さい

- ※複数の機械装置を一体的に要望する場合は、「一体的な要望の有無」欄で必ず指定して下さい
- ※水色の項目は、他の選択した項目に連動して自動的に選択できる項目・表示される情報が変わります
- ※黄色の項目は、選択肢から選択して下さい

STEP 4

最後に、その他の情報を選択・入力して下さい

※黄色の項目は、選択肢から選択して下さい

補助対象機械装置			機械装置導入の妥当性等の確認※12			機械装置価格、補助金等					一体的な要望の有無	参考優先順位	成果目標の達成状況 ※21								施設整備との一体性※6		従業員数 ※22	経営規模の区分 ※23	株式会社又は持分会社の要望のみ選択		取組主体の所在地(市町村名)	辞退履歴	備考 ※24	
機械装置の区分	機械装置名	数量	規模・数量の妥当性 ※13	既存の機械装置の有無確認 ※14	動力源の有無	機械価格 A	消費税 B	計 (A+B)	補助率	補助金額 (A×1/2以内)			飼養頭数 ※11	うち搾乳牛、繁殖雌牛、母猪	(H28)年度導入	(H29)年度導入	(H30)年度導入	(R1)年度導入	(R2)年度導入	(R3)年度導入	(R4)年度導入	活用事業			整備時期・内容	大規模法人への該当の有無【確認】				直近3カ年の農業に係る売り上げが1/2以上占めるか【確認】
選択肢から選択	選択肢から選択	半角で入力	選択肢から選択	選択肢から選択	選択肢から選択、手引きを参照のこと	半角で入力	半角で入力	自動で入力されます		自動で入力されます	選択肢から選択、手引きを参照のこと	半角で入力	半角で入力	選択肢から選択								選択肢から選択	手引きを参照して具体的に入力すること	半角で入力	選択肢から選択	選択肢から選択	選択肢から選択	入力ルールに沿って入力すること	手引きを参照して入力すること	中古品の要望以外の記載は不可
飼料給与関係機械装置	ローバールカッター	1	○	1:既存の機械装置がないことを協議会で確認した		2,500,000	250,000	2,750,000	1/2	1,250,000	なし	1	47	31	-	-	○	-	-	-	○	-				2:中小規模経営		●●市		
飼料給与関係機械装置	ローバールカッター	1	○	1:既存の機械装置がないことを協議会で確認した		1,800,000	180,000	1,980,000	1/2	900,000	なし	2	25	12	-	-	○	-	-	-	○	-				2:中小規模経営		●●部●●町		
家畜飼養管理機械装置	分娩監視装置	4	○	2:既存の機械装置があるが、要望する機械装置は能力が向上したものである(既存の機械装置は破棄する)		2,400,000	240,000	2,640,000	1/2	1,200,000	なし	3	46	30	-	-	-	-	-	-	3 自己資金	①整備時期:R6年8月竣工、 ②整備時内容:繁殖牛舎増築			2:中小規模経営	該当しない	農業売上げが1/2以上を占める	●●市	①一般枠、②分娩監視装置、③成果目標見直しのため	
家畜飼養管理機械装置	分娩監視装置	4	○	1:既存の機械装置がないことを協議会で確認した		2,400,000	240,000	2,640,000	1/2	1,200,000	なし	4	42	26	-	○	○	-	-	-	○	3 自己資金	①整備時期:R6年8月竣工、 ②整備時内容:繁殖牛舎増築			2:中小規模経営	該当しない	農業売上げが1/2以上を占める	●●市	
飼料収穫・調製用機械装置	ペールグラブ	1	○	2:既存の機械装置があるが、要望する機械装置は能力が向上したものである(既存の機械装置は破棄する)	2:「動力源」は自己資金で導入した機械装置を使用する	860,000	86,000	946,000	1/2	430,000	なし	5	50	33	○	○	-	-	-	-	-				2:中小規模経営		●●部●●村			
飼料収穫・調製用機械装置	ペールグラブ	1	○	1:既存の機械装置がないことを協議会で確認した	3:「動力源」は過年度の機械導入事業で導入した機械装置を使用する	950,000	95,000	1,045,000	1/2	475,000	なし	6	28	20	-	-	-	-	-	-	○	-				2:中小規模経営		●●市		
放牧関連機械装置	移動式スタンション	2	○	4:既存の機械装置があるが、要望する機械装置は増備(増設)するものである		1,200,000	120,000	1,320,000	1/2	600,000	なし	7	47	32	-	-	-	-	-	-	○	-				2:中小規模経営		●●部●●町		
放牧関連機械装置	移動式スタンション	2	○	1:既存の機械装置がないことを協議会で確認した		1,200,000	120,000	1,320,000	1/2	600,000	9位と一体	8	26	18	-	-	○	-	-	-	-	-				2:中小規模経営		●●市		
放牧関連機械装置	簡易畜舎(組立式)	1	○	1:既存の機械装置がないことを協議会で確認した		1,600,000	160,000	1,760,000	1/2	800,000	8位と一体	9	26	18	-	-	○	-	-	-	○	-				2:中小規模経営		●●市		

入力例:養豚

県名	●●県
畜産クラスター協議会名	●●県養豚振興協議会

○優先順位の考え方（どのような視点から協議会内の優先順位を決定したのか記入してください。）

STEP 1 はじめに、基本情報を入力・選択して下さい ※黄色の項目は、選択肢から選択して下さい										STEP 2 次に、当該機械装置を導入する必要性を選択し、成果目標に関する情報を選択・入力して下さい ※成果目標の前提となる導入の必要性は『導入の必要性[1]』の欄で選択して下さい ※水色の項目は、他の選択した項目に連動して自動的に選択できる項目・表示される情報が変わります ※黄色の項目は、選択肢から選択して下さい																										
優先順位※2	畜産経営基盤継承支援事業との一体性※5	所属(団体等名)	中心的经营体確認※7	取組主体等名※8	貸付主体から借受を行う場合の取組主体	氏名	取組主体要件※9	クラスター計画のテーマ番号(成果目標)※16	飼養区分※10	機械装置導入の妥当性等の確認※12				成果目標		成果目標の算定根拠 ※18										成果目標値										
										導入の必要性※15			成果目標の種類(1~6)※17	算定根拠※19	現状値					目標値					増加(削減)率(%)※20											
										[1]	[2]	[3]			①	単位	②	単位	③	単位	現状値(①×②×③)	単位	①	単位		②	単位	③	単位	目標値(①×②×③)	単位					
入力時の注意	選択肢から選択	選択肢から選択	選択肢から選択	直賃の場合は取組主体名、転賃の場合は貸付主体名を入力	転賃の場合のみ入力	選択肢から選択	全角ローマ数字(小文字)で入力	選択肢から選択	選択肢から選択	選択肢から選択	選択肢から選択	選択肢から選択	半角で入力	自動で表示されます	半角で入力	自動で表示されます	半角で入力	自動で表示されます	半角で入力	自動で表示されます	半角で入力	自動で表示されます	半角で入力	自動で表示されます	半角で入力	自動で表示されます	半角で入力	自動で表示されます	半角で入力	自動で表示されます	半角で入力	自動で表示されます	半角で入力	自動で表示されます	半角で入力	自動で表示されます
1	●●農業協同組合	○	A野 豚太郎			認定	iv 飼養規模の拡大・飼養管理の改善	養豚	飼養頭羽数の増加による出荷数量の増加	給餌作業の省力化		1 販売額の5%増	出荷数量(肉豚)	3,000	頭/年(年間販売頭数)	38,000	円/頭(販売単価)			114,000,000	円	4,500	頭/年(年間販売頭数)	38,000	円/頭(販売単価)			171,000,000	円	50.0%						
2	●●荷受組合	○	B元 豚次郎			認定	iii 労働負担の軽減	養豚	給餌作業の省力化			2 生産コストの5%減	労働費	3,600,000	円/人/年(労働費)	2	人(従事者数)			7,200,000	円	3,600,000	円/人/年(労働費)	1	人(従事者数)			3,600,000	円	-50.0%						
3	●●荷受組合	○	株式会社 C田農産			団体等	iv 飼養規模の拡大・飼養管理の改善	養豚	事故率の低減による出荷数量の増	衛生管理の高度化	母豚1頭当たり出荷頭数の増	1 販売額の5%増	出荷数量(肉豚)	3,000	頭/年(年間販売頭数)	38,000	円/頭(販売単価)			114,000,000	円	4,000	頭/年(年間販売頭数)	38,000	円/頭(販売単価)			152,000,000	円	33.3%						
4	●●農業協同組合	○	株式会社 D本農場			団体等	iii 労働負担の軽減	養豚	衛生管理の高度化			2 生産コストの5%減	労働費	3,600,000	円/人/年(労働費)	2	人(従事者数)			7,200,000	円	3,600,000	円/人/年(労働費)	1	人(従事者数)			3,600,000	円	-50.0%						
5	●●農業協同組合	○	●●農業協同組合 E本 豚五郎			認定	v:自給飼料の拡大	養豚	飼養頭羽数の増加による出荷数量の増加	自給飼料の生産・利用拡大		1 販売額の5%増	出荷数量(肉豚)	3,000	頭/年(年間販売頭数)	38,000	円/頭(販売単価)			114,000,000	円	4,500	頭/年(年間販売頭数)	38,000	円/頭(販売単価)			171,000,000	円	50.0%						
6	-	○	F村 豚六郎			認定	iv 飼養規模の拡大・飼養管理の改善	養豚	飼養頭羽数の増加による出荷数量の増加	エコフィードの利用拡大		1 販売額の5%増	出荷数量(肉豚)	3,000	頭/年(年間販売頭数)	38,000	円/頭(販売単価)			114,000,000	円	4,500	頭/年(年間販売頭数)	38,000	円/頭(販売単価)			171,000,000	円	50.0%						
7	-	○	G田 豚七郎			認定	iv 飼養規模の拡大・飼養管理の改善	養豚	飼養頭羽数の増加による出荷数量の増加	ふん尿処理の省力化		1 販売額の5%増	出荷数量(肉豚)	3,000	頭/年(年間販売頭数)	38,000	円/頭(販売単価)			114,000,000	円	4,500	頭/年(年間販売頭数)	38,000	円/頭(販売単価)			171,000,000	円	50.0%						
8	●●農業協同組合	○	●●農業協同組合 H谷 豚八郎			認定	iii 労働負担の軽減	養豚	ふん尿処理の省力化			2 生産コストの5%減	労働費	3,600,000	円/人/年(労働費)	2	人(従事者数)			7,200,000	円	3,600,000	円/人/年(労働費)	0.5	人(従事者数)			1,800,000	円	-75.0%						
9	●●農業協同組合	○	●●農業協同組合 H谷 豚八郎			認定	iii 労働負担の軽減	養豚	ふん尿処理の省力化			2 生産コストの5%減	労働費	3,600,000	円/人/年(労働費)	2	人(従事者数)			7,200,000	円	3,600,000	円/人/年(労働費)	0.5	人(従事者数)			1,800,000	円	-75.0%						

STEP 3

次に、**要望する機械装置に関する情報**を選択・入力して下さい

- ※複数の機械装置を一体的に要望する場合は、「一体的な要望の有無」欄で必ず指定して下さい
- ※水色の項目は、他の選択した項目に連動して自動的に選択できる項目・表示される情報が変わります
- ※黄色の項目は、選択肢から選択して下さい

STEP 4

最後に、その他の情報を選択・入力して下さい

- ※黄色の項目は、選択肢から選択して下さい

補助対象機械装置			機械装置導入の妥当性等の確認※12				機械装置価格、補助金等					一体的な要望の有無	参考 優先順位	成果目標の達成状況 ※21								施設整備との一体性※6		従業員数 ※22	経営規模の区分 ※23	株式会社又は持分会社の要望のみ選択		取組主体の所在地(市町村名)	辞退履歴	備考 ※24
機械装置の区分	機械装置名	数量	規模・数量の妥当性 ※13	既存の機械装置の有無確認 ※14	動力源の有無	機械価格 A	消費税 B	計 (A+B)	補助率	補助金額 (A×1/2以内)	(H28)年度導入			(H29)年度導入	(H30)年度導入	(R1)年度導入	(R2)年度導入	(R3)年度導入	(R4)年度導入	活用事業	整備時期・内容	大規模法人への該当の有無【確認】	直近3か年の農業に係る売り上げが1/2以上占めるか【確認】			※入力ルール ●市 ●町 ●村	手引きを参照して入力すること			
選択肢から選択	選択肢から選択	半角で入力	選択肢から選択	選択肢から選択	選択肢から選択、手引きを参照のこと	半角で入力	半角で入力	自動で入力されます		自動で入力されます	選択肢から選択、手引きを参照のこと	半角で入力	半角で入力	選択肢から選択				選択肢から選択	手引きを参照して具体的に入力すること	半角で入力	選択肢から選択	選択肢から選択	選択肢から選択	入力ルールに沿って入力すること	手引きを参照して入力すること	中古品の要望以外の記載は不可				
飼料給与関係機械装置	自動給餌機	2	○	4.既存の機械装置があるが、要望する機械装置は増備(増設)するものである		13,450,000	1,345,000	14,795,000	1/2	6,725,000	なし	1	3,360	160	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	2:中小規模経営		●●市		
飼料給与関係機械装置	自動給餌機	2	○	4.既存の機械装置があるが、要望する機械装置は増備(増設)するものである		14,500,000	1,450,000	15,950,000	1/2	7,250,000	なし	2	3,400	165	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2:中小規模経営		●●郡●●町		
衛生管理高度化機械装置	清掃ロボット	1	○	3.既存の機械装置があるが、要望する機械装置は能力が向上したものである(既存の機械装置は併用する)		3,200,000	320,000	3,520,000	1/2	1,600,000	なし	3	3,460	155	-	-	-	-	-	-	1:畜産クラスター事業	①整備時期:R6年8月竣工、 ②整備内容:肥育豚舎増築	1	2:中小規模経営	該当しない	農業売り上げが1/2以上を占める	●●市			
衛生管理高度化機械装置	清掃ロボット	1	○	1.既存の機械装置がないことを協議会で確認した		3,200,000	320,000	3,520,000	1/2	1,600,000	なし	4	3,650	150	-	○	-	-	-	-	2:他の事業	①整備時期:R6年11月竣工、 ②整備内容:肥育豚舎改築(改装)	1	2:中小規模経営	該当しない	農業売り上げが1/2以上を占める	●●市	①一般枠、②清掃ロボット、③施設整備時期変更		
飼料用米調製用機械装置	飼料粉碎機	1	○	2.既存の機械装置があるが、要望する機械装置は能力が向上したものである(既存の機械装置は破棄する)		2,100,000	210,000	2,310,000	1/2	1,050,000	なし	5	3,500	150	○	○	-	-	-	-	-			2:中小規模経営		●●郡●●村				
エコフィード調製・給与関係機械装置	リキッドフィード給与装置	3	○	1.既存の機械装置がないことを協議会で確認した		24,000,000	2,400,000	26,400,000	1/2	12,000,000	なし	6	3,300	154	-	-	-	-	-	-	-			2:中小規模経営		●●市				
堆肥調製散布関係機械装置	堆肥運搬車(特装しているものに限り)	1	○	2.既存の機械装置があるが、要望する機械装置は能力が向上したものである(既存の機械装置は破棄する)		6,500,000	650,000	7,150,000	1/2	3,250,000	なし	7	3,400	150	-	-	-	-	-	-	-			2:中小規模経営		●●郡●●町				
堆肥調製散布関係機械装置	堆肥運搬車(特装しているものに限り)	1	○	1.既存の機械装置がないことを協議会で確認した		5,800,000	580,000	6,380,000	1/2	2,900,000	9位と一体	8	6,800	300	-	-	○	-	-	-	-			2:中小規模経営		●●市				
堆肥調製散布関係機械装置	ロータリー式攪拌装置	1	○	1.既存の機械装置がないことを協議会で確認した		12,000,000	1,200,000	13,200,000	1/2	6,000,000	8位と一体	9	6,800	300	-	-	○	-	-	-	3 自己資金	①整備時期:R6年7月、②整備内容:たい肥盤新設		2:中小規模経営		●●市				